

小清水町防災拠点型複合庁舎 実施設計の概要



1. 敷地概要

建築地	小清水町元町2丁目213番4ほか
敷地面積	約23,061㎡
都市計画区分	都市計画区域外
防火指定	法22条区域

2. 建築概要

主要用途	役場
構造種別	鉄筋コンクリート造
建築面積	2,524.47㎡
延床面積	3,942.95㎡
階数	地下1階地上2階
最高高さ	17,530.4mm

3. 付帯施設

(1)新庁舎(新築)
(2)温泉利用施設(新築)
(3)公用車庫(新築)
(4)待合ポーチ(新築)
(5)駐輪場(新築)
(6)公衆便所(新築)

4. 駐車場

来庁者駐車場	52台 (障がいのある方用3台含む)
職員駐車場	55台

5. 計画事業費

区分	事業費(千円)	区分	財源(千円)
建築主体	1,702,690	地方債	2,043,800
電気設備	310,123	公共施設整備基金	276,605
機械設備	352,726	一般財源	45,134
計	2,365,539	計	2,365,539

歩いてまわれるまちづくりの結節点

- ・まちの骨格軸である国道に沿った建物配置とし、町民の皆さんがにぎわうまちのシンボルとなる庁舎をつくります。
- ・四方に向かって開かれたウラのない構成とし、出入口を複数設けることでまちのどこからでもアプローチしやすい外観とします。
- ・災害時でも歩いて安全に立ち寄れる、歩行者にやさしい自然と調和したデザインとします。

まちとつながるコンパクトな複合庁舎

- ・町民の皆さんが自由に通り抜けできる、光溢れる開放的な「じゃがいもストリート」を設けます。
- ・建物を親しみやすい小さなボリュームに砕き、間口の狭い地割によって形作られた商店街のまちなみと調和したデザインとします。
- ・多様な機能を利用形態に応じて柔軟に運用することで、建物全体として持続可能で環境負荷の小さな建築をつくります。

町民が集まるいつものワタシノ居場所

- ・全ての町民の皆さんが日常を快適に過ごすことのできる、地域コミュニティの中心拠点を形成します。
- ・平常時でも災害時でも多様な使い方ができ、簡易に移動や交換が可能な間仕切り、家具什器を設えます。
- ・小清水町らしさを象徴する素材や工法を選定し、町民の皆さんに長く愛される庁舎をつくります。

工事工程表

